【海外文献紹介】

Aging of blood can be tracked by DNA methylation changes at just three CpG sites

Weidner CI, Lin Q, Koch CM, Eisele L, Beier F et al. Genome Biol. 2014 Feb 3;15:R24. doi: 10.1186/gb-2014-15-2-r24.

下田 修義

国立長寿医療研究センター研究所 再生再建医学研究部門

本論文では血中ゲノムに存在するわずか三つの CpG 部位のメチル化レベルをもとにヒトの暦年齢をおよそ5歳の誤差で求めうることを示し、この年齢測定法を犯罪捜査や生物学的年齢の推定に役立てることができるとした [1]。本論文を含む最近のエピジェネティッククロックのデータは多能性幹細胞の移植治療や老化のメカニズムを考える上でも参考になる。

脊椎動物のゲノムにおいて CpG という並びのシトシ ンはそのおよそ7割がメチル化を受けている。体細胞ゲ ノムのメチル化パターンは受精後まもなく確立され、そ の後細胞の分化に伴い細胞種ごとの特徴的な DNA メチ ル化パターンをもつに至る。ただしそのメチル化パター ンも不変ではなく時間とともに緩除に変化してゆくた め、メチル化をマーカーにしてかなり正確に暦年齢を 推定できることがわかってきた[14]。このエピジェネ ティッククロックの発見に貢献したのが、ヒトゲノム の 48 万カ所に及ぶ CpG 部位のメチル化レベルを個々に 定量できるイルミナ社のマイクロアレイである。このプ ラットフォームを用いた研究の論文を発表する際にはア レイデータを公共のデータベースに登録することになる ので、自分のデータと他者のデータ、あるいは他者のデー タ同士を比較して in silico で加齢依存的メチル化変動部 位を検出することできるようになった。

本論文では、4つの異なる先行研究のメチル化アレイデータを活用することにより、加齢でメチル化変動を示す血中 CpG 部位のなかでもとくに年齢と直線的な相関をもってメチル化変動する102の CpG 部位を見出した[1]。その内訳は58部位が加齢により低メチル化、44部位が加齢により高メチル化であった。なお、別グループが同じく血液で、かつ同じアレイで調べたところ、全

連絡先:〒474-8511

愛知県大府市森岡町7丁目430番地

TEL: 0562-46-8629 FAX: 0562-46-8629

E-mail: shimoda@ncgg.go.jp

48万 CpG 部位のうち、15% [2] あるいは 29% [3] も の CpG 部位においてメチル化が加齢変化すると報告さ れているので、年齢推定に使える CpG 部位はごく限ら れたものと推測される。102の CpG 部位のメチル化デー タをもとに求めた重回帰式において推定年齢と暦年齢の 誤差の平均はわずか3.34歳であった(図1)。年齢推定 に102カ所のメチル化を測定するのは実際的ではない ので、著者らは三つの CpG 部位を厳選し、それでも 5.4 歳の誤差で年齢を推定できることを示し、それらの三つ の CpG 部位のメチル化レベルを入力すると推定年齢が 提示される Web サイトを立ち上げた (図2)。メチル 化レベルの測定にはパイロシーケンス法による定量が求 められているが、筆者の経験では一般的に普及している バイサルファイトシーケンス法でもシーケンスするク ローンの数を30程度まで行えばパイロシーケンス法に 近い値が求まるので、この年齢推定法の有効性は容易に 確認できるはずである。

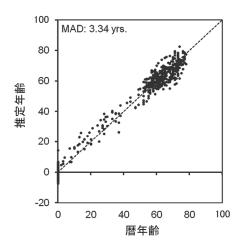


図 1 加齢変動メチル化マーカーによる年齢測定 血中ゲノム中、102カ所の CpG 部位にメチル化を測 定することにより血液提供者の年齢を推定した結果。 MAD: mean absolute deviation(平均絶対偏差:推 定年齢と実年齢の差の絶対値の平均)

	Gene	Sequence	Methylation level %
CpG1	ASPA	CCCTGTTCTCTGAATCTCAGCGCCATTCTCTAGCCAATGCTT	
CpG2	ITGA2B	TGCCTACGTGTTTAGCCCACGCGGCCAGCCTGAGGAGTCAG	
CpG3	PDE4C	GGTTGCCGCCACAGGTGCTTCGGGGGCTCTGGTCATGCTGTGG	
			Calculate
		predicted age:	
		Start All Over	

図2 メチル化年齢推定サイト

血中 DNA の指定された三つの CpG 部位のメチル化レベルを測定し、その結果を入力すると推定年齢が表示される。

http://www.molcell.rwth-aachen.de/epigenetic-aging-signature/

本論文はまた ES 細胞と iPS 細胞という多能性幹細胞 の推定年齢をメチル化から求め、それが0歳前後である ことを示した。この結果は先行論文の結果と一致してい る[4]。ES細胞が胚盤胞という初期胚から樹立されるこ とと、iPS 細胞は分化した体細胞が ES 様細胞へ初期化 した細胞であることから、それらの細胞のメチル化年齢 が0歳前後というのは受け入れやすい。この年齢測定法 はもともと血液細胞を元に作られたが、この結果は、メ チル化マーカーによる年齢推定法は細胞のタイプに依ら ずに使える手法であることを示唆しており、いくつかの 先行論文はそのことを実際に示している[2,4]。なおES 細胞と iPS 細胞は、これらの細胞を一足飛びに目的の細 胞へと分化させ、移植に使うという再生医療への応用面 が期待されているが、移植時点での細胞のメチル化年齢 は何歳になるのだろうか?仮に年齢によるメチル化変化 が老化の原因になっているとすれば、in vitro で分化さ せた移植細胞のエピネジェティック年齢が高齢型になっ てしまうと、移植後、細胞の機能持続性や定着性に影響 する怖れがある。ESやiPSから分化させた組織・器官 についてのメチル化年齢解析が待たれるところである。

CpG 部位のメチル化変動が老化の一因なのか、あるいは単に加齢の結果生じ、老化には結びつかない現象なのかは未だ明らかにされていない。遺伝子プロモーター領域のメチル化は一般に発現に対し抑制的に働くので、老化の原因となるとすればメチル化変動に伴う発現異常が最も考えやすい。本論文でもその視点から、上記の年

齢推定用に選ばれた三つのメチル化 CpG 部位について、 それらの近傍に存在する遺伝子、integrin a 2b (ITGA2B)、 aspartoacylase (ASPA)、および phosphodiesterase 4C, cAMP specific (PDE4C) の三つについて発現を調べた が、加齢による変化は見られなかったという。しかしこ の内、ITGA2Bと ASPA はもともと血液細胞で発現が ほとんどなく、PDE4C については遺伝子の中央部にマー カー CpG が存在し、そのような部位のメチル化が多少 変化しても発現に影響するとは考えにくい。したがって 今回のケースから、メチル化変動と遺伝子発現変化の関 連を判断することは適当ではないだろう。ちなみに解析 対象数の多い先行研究では、メチル化変動する CpG 部 位の近傍遺伝子はその一部が加齢により発現変化を示す こと [2.3]、あるいは加齢で発現の変化する遺伝子の近 傍に、メチル化マーカーが見つかりやすいことが示され ている[4]。なお興味深いことに、これらの論文には、 老化して初めて発現してくる遺伝子や逆に発現が止まる 遺伝子は記載されていない。加齢のメチル化変動はドラ スティックではなくせいぜい 20% 程度と穏やかなため、 メチル化変動が発現に影響を与えるとすれば、それはト ランスクリプトーム(種類)自体の変化ではなく、トラ ンスクリプトームに占める個々の遺伝子の相対的発現比 率の穏やかな変化として現れるのかもしれない。今後は、 メチル化変動と寿命・老化の因果関係を解析可能にする、 エピジェネティッククロックを早めたり、巻き戻したり できるモデル生物の開発が望まれる。

引用文献

- Weidner CI, Lin Q, Koch CM, et al. Aging of blood can be tracked by DNA methylation changes at just three CpG sites. Genome Biol 15:R24, 2014.
- Hannum G, Guinney J, Zhao L, et al. Genome-wide methylation profiles reveal quantitative views of human aging rates. Mol Cell 49:1-9, 2013.
- Johansson Å, Enroth S and Gyllensten U. Continuous aging of the human DNA methylome throughout the human lifespan. PLoS One 8:e67378, 2013.
- 4. Horvath S. DNA methylation age of human tissues and cell types. Genome Biol 14:1R115, 2013.